



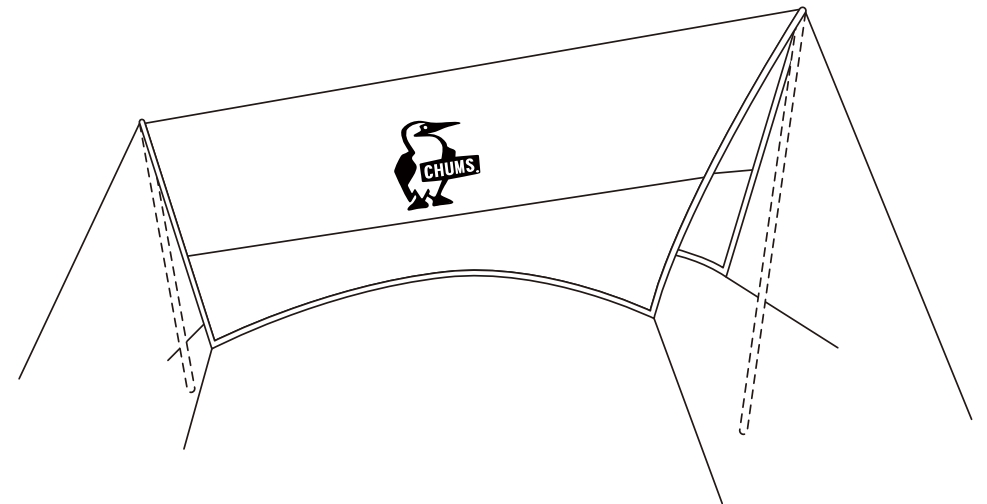
この度は CHUMS 製品をお買い上げいただき、  
誠にありがとうございます。  
安全にご使用いただくためにも、  
ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しくご使用ください。  
本取扱説明書はお読みになった後も大切に保管してください。

【お問い合わせ先】

株式会社ランドウェル 東京都港区北青山 3-5-12 青山クリスタルビル 7 階  
TEL: 03-6432-9550 URL: [www.chums.jp](http://www.chums.jp)

# BOOBY HEXA TARP

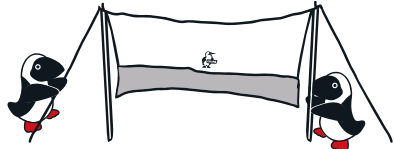
ブービー ヘキサ タープ



取扱説明書

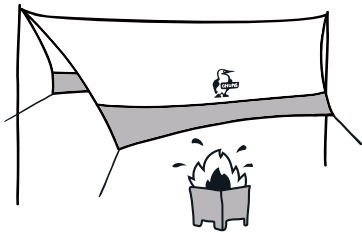
# BOOBY HEXA

# TARP の楽しみ方!



## タープ設営は2人以上で!

1人で頑張ったらポールが倒れたり、本末転倒.....  
ここは2人以上で、チームワークです!



## タープ内では火気厳禁!

火災になる恐れがあります!

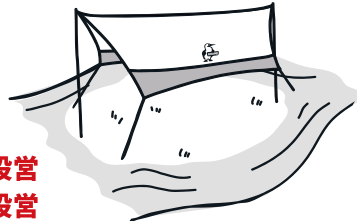
## 崖の下など危険な場所に設営しない

小さな石でも大ケガに繋がる可能性があります



## 指定エリア外に設営しない

- × 中州に設営
- × 水辺に設営



## 河原の設営は建てる場所を選んで!

急な増水はけっこう普通におこります  
川って穏やかそうに見えてめちゃくちゃ危険です

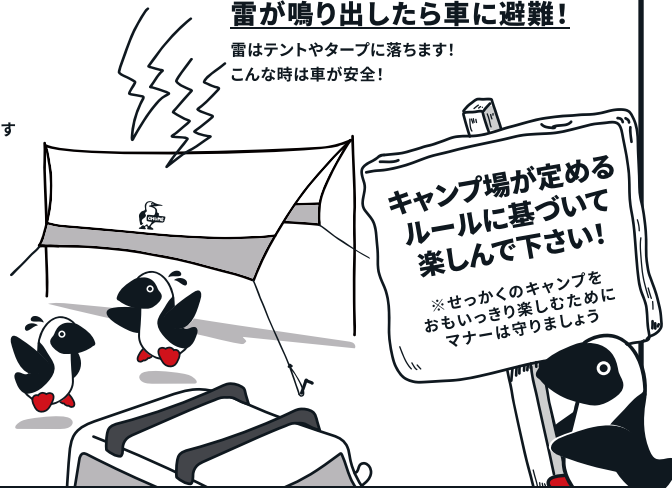


## 台風・強風・暴風雨などこんな時は無理せずキャンプしない

タープは絶妙なバランスで立っていますが  
ゆえに倒れやすいので無理せず安全に楽しみましょう!

## 雷が鳴り出したら車に避難!

雷はテントやタープに落ちます!  
こんな時は車が安全!



キャンプ場が定める  
ルールに基づいて  
楽しんで下さい!

※せっかくのキャンプを  
おもいっきり楽しむために  
マナーを守りましょう

※上記の注意事項をしっかりと守って、気持ちよくキャンプを楽しんでください!

## タープ設営の心得!

タープ設営を始める前に、  
これだけは頭に入れておこう!

### ○ 設営場所をしっかりと見極めるべし

- ・危険がある場所には設営しない

### ○ できる限り平地を選ぶべし

- ・自然の中なので完全な平地はありませんが...  
より快適に過ごすためにもできるだけ  
よく見て設営しましょう

### ○ 水の流れを読むべし

- ・水の流れた跡、水が溜まった跡、ここは避ける!

### ○ 想像力をフルパワー(全開)にすべし

- ・お隣との距離感、ロープで使う広さ しっかり想像する

### ○ 声かけしながら仲良く設営

- ・設営でモメると、この先の1泊~2泊ず~っと険悪ムードに...  
せっかく楽しいキャンプです。これだけは避けよう!

### 準備するもの

出発前にCheck!! セット内容の確認!

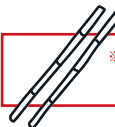
現場について「あ、足りない...」なんてことがないように  
出発前にCheckしましょう!!



タープ本体



スチールペグ/8本 ガイロープ(赤)/4本 ガイロープ(グレー)/2本



※ポールは付属しておりません  
推奨ポール 230cm

### あると便利なもの



ハンマー



ペグ抜き



ペグ&ロープの予備



グローブ

ペグとロープはおうちで言うところの基礎になります!  
セットに入っているのは最低限の数と長さです  
設営場所でのいろいろ出番がちがうので、予備を持っておくと良いです

設営します!

01 収納ケースからタープ本体を取出します



コロコロ転がして生地を広げましょう

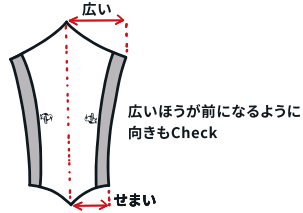
02 タープの生地全体が見えるように広げて位置を決めます

後戻りできないのでここでしっかりと位置決め!

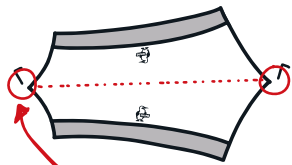
Point!

位置決めのポイント!

- ・タープの位置
- ・ロープが張れるか
- ・ペグが打てるか
- ・周囲との距離



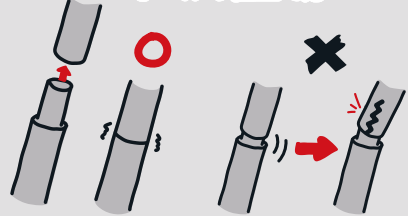
03 位置が決まったら赤丸印の場所にペグを仮打します



この目印にポールを立てれば位置がズレない

予備知識!

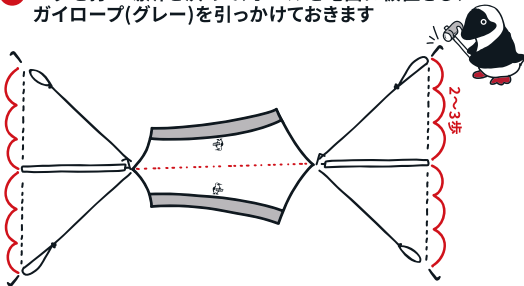
ポールの組立て方



しっかり最後まで差し込むのがポイント!

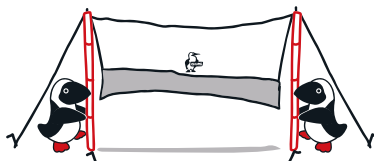
ここでしっかり差し込まないとテコの原理でポールが割れたりします。長持ちさせるためにもここはしっかりと!

04 ペグを打つ場所を決めて、ポールを地面に仮置きし、ガイロープ(グレー)を引っかけておきます

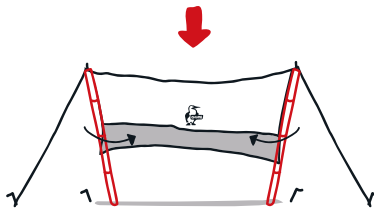


ポールに沿って2~3歩(約2m)、そこから、左右に2~3歩歩くとポールを軸に同じ距離、同じ幅でペグを打つことができます

05 センターポールを持ち上げます

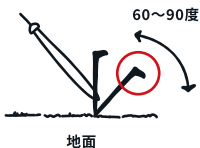


03で仮打しておいたペグに位置を合わせるとずれることなく設営できます



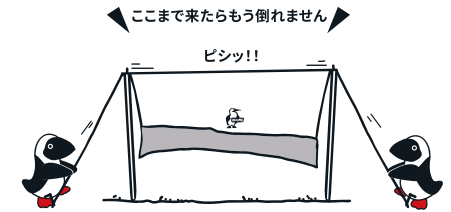
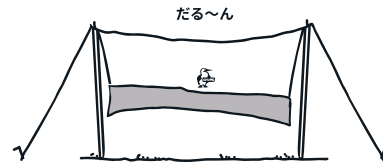
ポールの下側は少しだけ(10cmくらい)内側に入れて傾けます

Point! ペグを打つ角度が大事!!



ちょっと地面に刺さる位まで打ち込む  
こうするとペグが回らないのでロープが抜けにくい

06 ガイロープを引っ張って稜線の部分をピシッ!とします



風が強いときの対策

通常



ガイロープに輪をつかってポールの先端に引っかける

強風



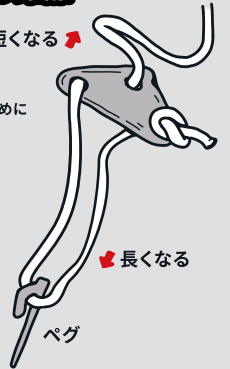
ガイロープに輪をつかってポールの先に引っかけてからポールの後ろで一回クロスさせる

テントとペグの距離

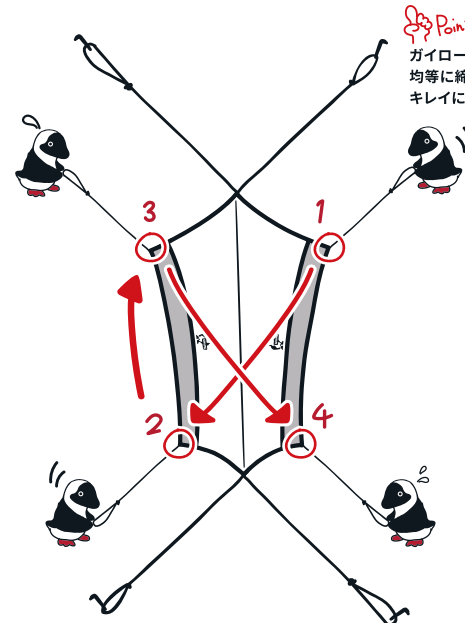
自在金具の使い方

短くなる

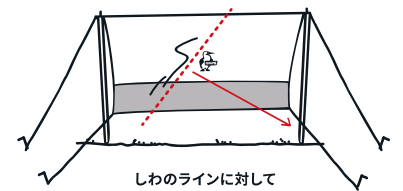
ガイロープの長さを調節するために付いている自在金具。この金具をタープ側に引っ張ると短くなり、ペグ側に下げるとガイロープは長くなります。ガイロープにしっかりとテンションがかかると勝手に滑り落ちることもないすくれもの!!です



07 タープの四隅にガイロープ(赤)を張っていきます

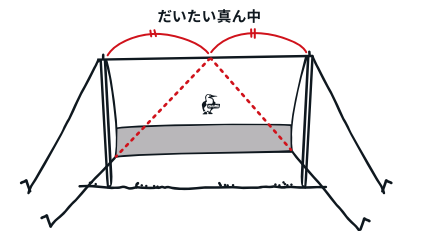


しわが気になるときは...



しわのラインに対して垂直方向のガイロープの張りを強くするとしわが消えます

キレイに張るコツ!

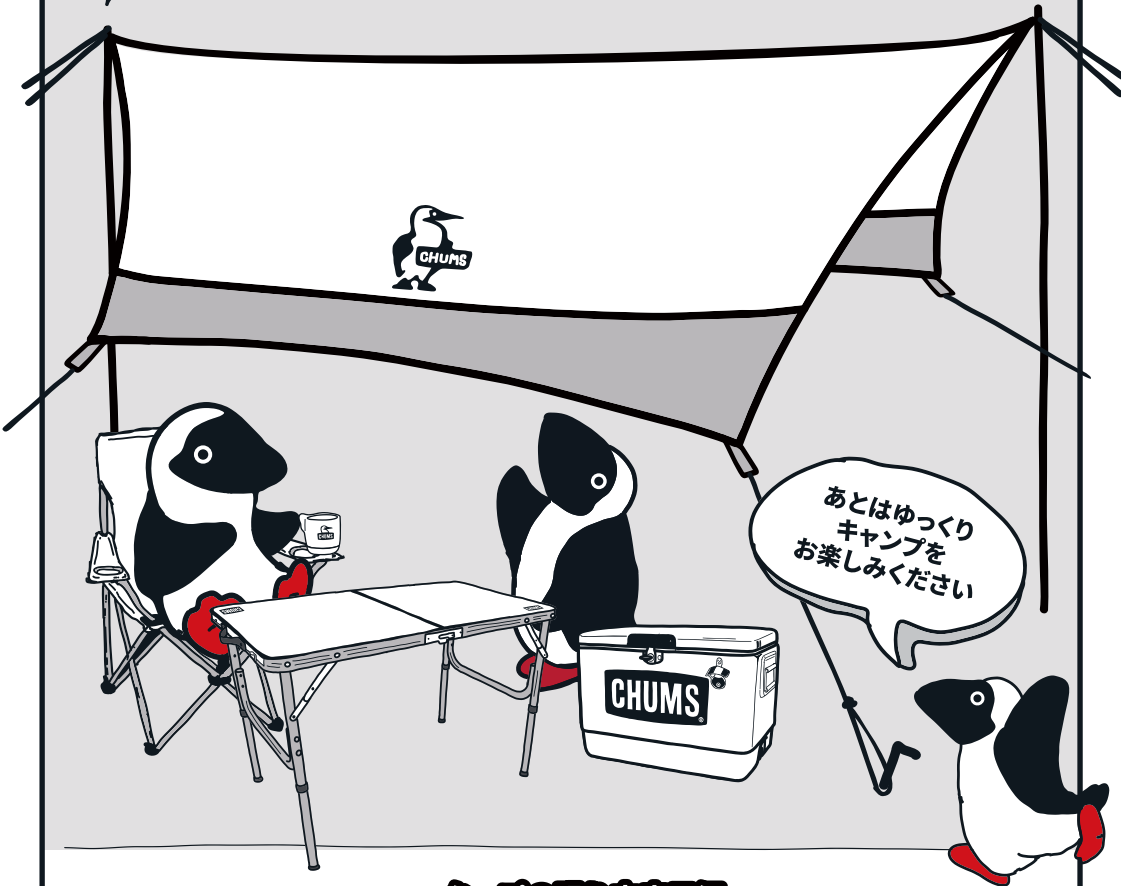


だいたい真ん中  
だいたいいいのですが、タープの稜線の真ん中からガイロープが一直線につながるイメージで張ってください

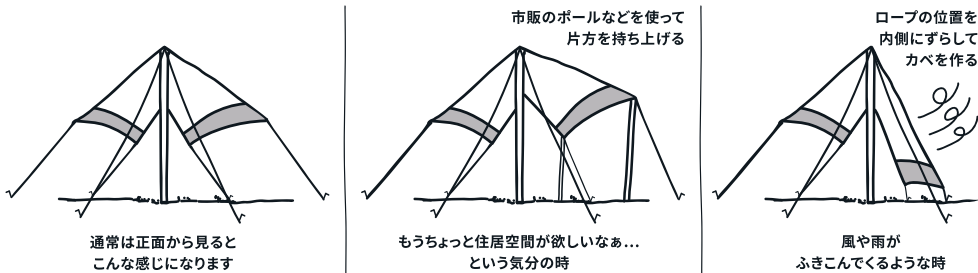
完成です!

# BOOBY HEXA TARP

ブービーヘキサタープ



## タープの張り方応用編



通常は正面から見るとこんな感じになります

もうちょっと住居空間が欲しいなあ... という気分の時

風や雨がふきこんでくるような時

ガイロープの張り方でいろんなパターンが楽しめます!

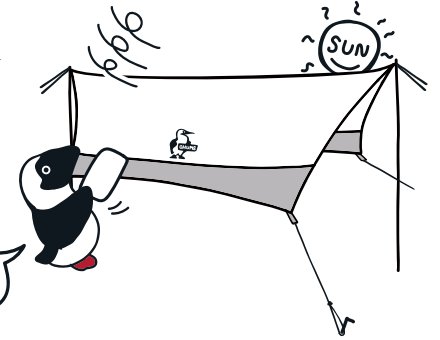
撤収します!

撤収は次のキャンプの準備です!

次回も気持ちよくキャンプをするためにキレイを心掛けましょう

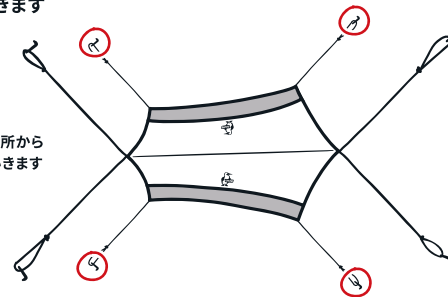
01 まず、お日様と風の力を借りて、完全に乾燥させます  
水分がついたまま収納するとカビの原因になります

このタイミングでふき掃除などして汚れも落としていきましょう



02 ベグを抜きます

右図の丸印4ヶ所からベグを抜いていきます



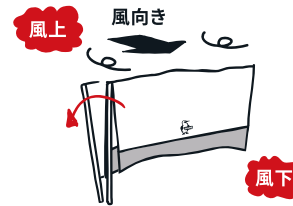
Point! ガイロープはテントからも外す

ガイロープは水分を吸いやすく、そして乾きにくいです  
湿気っていると、カビ発生の原因になります  
また、生地にこすれて色の移染や生地劣化の原因にもなるので、必ず外しましょう



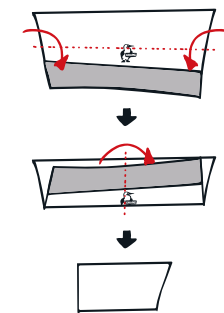
03 タープを倒します

まず、メインポールを倒すのですが...  
ここで風を利用します!

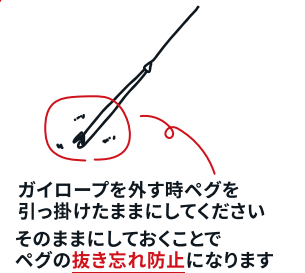


二人でポールを持って風上側にたおすとあら不思議!! タープが半分に折りたためます

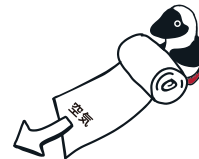
タープが半分になったらポールを抜いておいたまま



Point! ガイロープを外す時ベグを引っ掛けたままにしてください  
そのままにしておくことでベグの抜き忘れ防止になります



04 たたみましょう!



半分折った側から空気を抜きながら巻いていきます



逆に、反対から巻くと空気が抜けず風船のように膨らんでしまいます



最後に収納ケースを上からかぶせてもう一回コロン



ファスナーをして  
お疲れ様でした!

※ポールも一緒に巻いて収納することもできます

## 組み立て・使用上の注意及び禁止事項

**危険** この警告を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、人が死亡、または重傷を負う事故が想定される内容を表しています。

- タープ内での火気の使用は大変危険です。一酸化炭素中毒等、生命をおびやかす恐れがありますので、絶対におやめください。
- 台風、暴風雨、落雷等の異常気象の際は危険ですのでタープの組立(設営)及び、使用はお避けください。
- 河原の中洲や崖下などの増水、落石の危険のある場所でタープを設営しないでください。

**注意** この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、または物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- キャンプ場へお出かけの前に全ての部品がそろっているか確認してください。
- タープの設営は2人以上で行ってください。無理な設営はポールの破損や本体破れの原因となります。
- タープの設営の際は手袋を着用してください。
- ポールを伸ばす際は各節を完全に差し込んでください。また、指を挟まないように注意してください。
- ポールを伸ばす際は周囲に十分注意してください。近くに人がいないことを確認してください。
- ペグを打つ際にハンマーで指を打たないように注意してください。
- 小さいお子様にポールの組み立てやペグ打ちの作業をさせないでください。
- 風が強い時はタープの設営を行わないでください。  
本体が飛ばされて思わぬ事故やポール折れ等、本体破損の原因となります。
- タープ設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。  
また、風の影響を受けにくい場所を選んでください。
- タープ本体はペグで確実に地面に固定してください。  
風で飛ばされたり雨水が溜まって思わぬ事故につながる場合があります。
- タープを設営する場所によっては付属のペグが使用できない場合があります。  
あらかじめ行かれる場所の状態を確認しておいてください。
- タープから長時間離れる場合は必ず撤収してください。急な天候の変化、突風などにより、テントが飛ばされて思わぬ事故の原因となります。
- タープの近くで火気を使用しないでください。
- 結露について  
外気との温度差が大きいと生地の内側に水滴がつくことがあります。  
これは水漏れではありません。タープ内の換気を行うことで改善することが出来ます。

## 収納や保管の注意

**注意** この注意を無視して誤った収納や保管をすると、事故やケガといった人的傷害、または物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- 使用後は汚れを十分に落とし、十分に乾かしてから直射日光が当たらない、通気性の良い場所で、収納・保管してください。濡れたままの状態での収納しますと、色移りやカビの発生原因となります。
- 長期保管される場合は、湿気がこもりカビ発生の原因となりますので、ご注意ください。
- 撤収時、本体を乾かせない場合は、出来るだけ早く乾燥させてください。そのまま放置しますと、色移りやカビの発生原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布でふき取り、よく乾燥させてから保管してください。
- シンナー・ベンジンなどの有機溶剤の使用は、色落ち、変色及びプリントや樹脂加工の剥がれの原因となります。
- 本体、収納ケースは洗濯しないでください。
- 幼児、子供の手の届かない場所に保管してください。

## 品質保証について

お買い求め頂きました製品は万全を期していますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店またはCHUMS お客様相談室(cs@chums.jp)までご連絡ください。製造上の欠陥と当社が判断した場合は無償で修理又は交換させていただきます。但し、誤った使用方法や、経年劣化による不具合に付きましては保証、修理できない場合もあります。

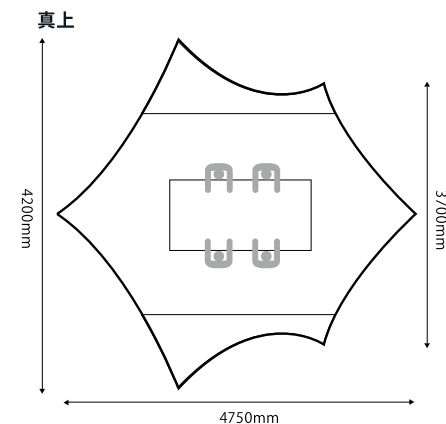
## 商品仕様 ※ポールは付属しておりません

品名: Booby Hexa Tarp  
サイズ: 幅475cm×奥行420cm  
収納袋(本体): 幅68cm×高さ16cm×奥行17cm  
収納袋(ガイロープ・ペグ用): 幅18cm×高さ48cm  
材質: ポリエステル  
重量: 3kg  
MADE IN CHINA

## セット内容 お出かけになる前に、パーツ等の不足がないかご確認ください。

・タープ本体	1 張
・ペグ	8 本
・ガイロープ長(グレー)	2 本
・ガイロープ短(赤)	4 本
・収納袋(本体用)	1 個
・収納袋(ガイロープ・ペグ用)	1 個

## サイズ



**MEMO**